第 10 章　様　　式

第１０章　様　　式

様式－１　工事着手届 - 159 -
様式－２　現場代理人及び主任技術者（監理技術者）等指定通知書 - 160 -
様式－２－１　現場代理人及び主任技術者（監理技術者）等変更通知書 - 161 -
様式－２－２　現場代理人の兼任届 - 162 -
様式－２－３　監理技術者等の兼任届 - 163 -
様式－３　現場代理人経歴書 - 164 -
様式－４　技術者経歴書 - 165 -
様式－５　接合工事等資格者指定通知書 - 166 -
様式－６　工事工程表 - 167 -
様式－６－１　工事工程表（変更用） - 168 -
様式―６－２　工事工程表（別紙） - 169 -
様式－８　工事延長協議願 - 170 -
様式－９　工事部分検査願 - 171 -
様式－１０　工事しゅん功届（設計金額が２５０万円以上） - 172 -
様式－１０－１工事しゅん功届（設計金額が２５０万円未満） - 173 -
様式－１５　水圧試験報告書 - 174 -
様式－１６　水圧試験報告書（テストバンド方式） - 175 -
様式－１６－１試験結果 - 176 -
様式－１７　断水計画書 - 177 -
様式－１８　推進工事記録表 - 178 -
様式－１９　推進工成果報告書 - 179 -
様式－２０　材料受払簿 - 180 -
様式－２０－１材料受払簿（記載要領及び記載例） - 181 -
様式－２０－２材料受払簿（記載様式） - 183 -
様式－２１　EF ソケット継手チェックシート - 184 -

工　事　着　手　届

令和　　年　　月　　日

札幌市水道事業管理者
　水道局長　　様

（住所）
請負人（名称）
（代表者名）　　㊞

下記工事は令和　　年　　月　　日着手したのでお届けします。

記

１　工事番号　　（　　）第　　－　　号

２　工 事 名

・提出部数　　２部
・提 出 先　　監督員
・提出期限　　着手日と同日
・主任技術者等指定通知書、工事工程表等を添付して提出するときは、各頁間に使用印で割印すること。
・保険関係成立済（労働基準監督署）の印を右下端に押印する。

現場代理人及び主任技術者（監理技術者）等指定通知書

年　　月　　日

札幌市水道事業管理者

水道局長　　様

（住所）

請負人（名称）

（代表者名）　　㊞

ＴＥＬ.

工　事　番　号	工　　事　　名

上記工事に係る現場代理人及び主任技術者（監理技術者）等を次のとおり定めたので、別紙技術者経歴書を添えて通知します。

区　　分	氏　　名	備　　考

・　「区分」欄には、現場代理人、主任技術者、監理技術者、監理技術者補佐、専門技術者の種別を記載すること。

（技術者の配置は、建設業法第 26 条及び第 26 条の２に基づき適正に行うこと。）

・　構成員の要件は「札幌市水道局工事等共同企業体取扱要領（建設業法第 24 条の７及び建設業法施行令第７条の４による）に基づき適正に配置すること。

・　下請代金額の合計が、4,500 万円（建築工事の場合は 7,000 万円）以上となるときは、主任技術者に替えて監理技術者を配置すること。

・　現場代理人と主任技術者（監理技術者）、監理技術者補佐及び専門技術者は、兼務することができる。

・　専門技術者を置くときは、担当する工事種別を「備考」欄に記載すること。

・　共同企業体の場合は、各技術者等の所属会社名を「備考」欄に記載すること。

・　技術者等と請負人との直接的かつ恒常的な雇用関係を確認できる書類（健康保険証の写し等）を添付すること。

現場代理人及び主任技術者（監理技術者）等変更通知書

年　　月　　日

札幌市水道事業管理者

水道局長　　様

（住所）

請負人（名称）

（代表者名）　　㊞

ＴＥＬ.

工　事　番　号	工　　事　　名

上記工事に係る現場代理人及び主任技術者（監理技術者）等を次のとおり変更したので、別紙技術者経歴書を添えて通知します。

区　　分	氏　　名	備　　考（理由）
新		
旧		

・　「区分」欄には、現場代理人、主任技術者、監理技術者、監理技術者補佐、専門技術者の種別を記載すること。

（技術者の配置は、建設業法第 26 条及び第 26 条の２に基づき適正に行うこと。）

・　構成員の要件は「札幌市水道局工事等共同企業体取扱要領（建設業法第 24 条の７及び建設業法施行令第７条の４による）に基づき適正に配置すること。

・　下請代金額の合計が、4,500 万円（建築工事の場合は 7,000 万円）以上となるときは、主任技術者に替えて監理技術者を配置すること。

・　現場代理人と主任技術者（監理技術者）、監理技術者補佐及び専門技術者は、兼務することができる。

・　専門技術者を置くときは、担当する工事種別を「備考」欄に記載すること。

・　共同企業体の場合は、各技術者等の所属会社名を「備考」欄に記載すること。

・　技術者等と請負人との直接的かつ恒常的な雇用関係を確認できる書類（健康保険証の写し等）を添付すること。

様式－２－２

現 場 代 理 人 の 兼 任 届

令和　　年　　月　　日

☐ 札 幌 市 長 様
☐ 交通事業管理者　様
☐ 水道事業管理者　様
☐ 病院事業管理者　様

(住所)
請負人　(会社名)
(代表者)　㊞

現場代理人を下記の工事に兼任させたいので、届け出します。

記

1　兼任させる現場代理人

氏　　名	

2　兼任する工事①

工 事 番 号		
工　事　名		
工 事 場 所		
工　　期	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日	
請 負 代 金 額	金　　円	
監　督　員 （工 事 主 任）	札幌市　〔局・区〕　部　課 (氏名)	
連　絡　員	氏名	連絡先

3　兼任する工事②

工 事 番 号		
工　事　名		
工 事 場 所		
工　　期	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日	
請 負 代 金 額	金　　円	
監　督　員 （工 事 主 任）	札幌市　〔局・区〕　部　課 (氏名)	
連　絡　員	氏名	連絡先

4　兼任する工事③

工 事 番 号		
工　事　名		
工 事 場 所		
工　　期	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日	
請 負 代 金 額	金　　円	
監　督　員 （工 事 主 任）	札幌市　〔局・区〕　部　課 (氏名)	
連　絡　員	氏名	連絡先

※本書を兼任する工事の数に応じて２又は３部作成し、それぞれの監督員（工事主任）に提出すること。
※本書を提出せずに兼任させた場合、本書の内容に虚偽があった場合、兼任を認めた後に虚偽が判明した場合等は、契約上の信頼関係を損なう行為に該当するものとして札幌市競争入札参加停止等措置要領に基づく参加停止等措置等の対象とする場合がある。
※連絡員について変更が生じる場合は、監督員（工事主任）と協議するものとする。

様式－２－３

監 理 技 術 者 等 の 兼 任 届

年　　月　　日

札幌市水道事業管理者

水道局長　　様

（住所）

請負人（会社名）

（代表者）　　㊞

下記のとおり、専任を要する監理技術者等を他の工事に従事させたいので届け出します。

記

１　工事概要

工 事 番 号	
工　事　名	
工 事 場 所	
工　　期	年　月　日 ～　年　月　日
請負代金額	金　円

２　他の工事に従事させる技術者（他の工事に従事している技術者）

技術者区分	□監理技術者　□主任技術者
氏　　名	

３　新たに従事する工事（既に従事している工事）

発　注　者	
工　事　名	
工 事 場 所	
工　　期	年　月　日 ～　年　月　日
請負代金額	金　円

４　兼任期間・事由

兼 任 期 間	年　月　日 ～　年　月　日
事　　由 該当する事由にチェックすること	⑴　工事現場への専任を要しない期間であるため □ ア）契約締結後、現場施工に着手するまでの期間 □ イ）工事を全面的に一時中止している期間 〔非常時の対応方法：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿〕 □ ウ）工場製作のみが行われている期間 □ エ）工事しゅん功後、事務手続、後片付け等のみが残っている期間 □ ⑵同一工場内で一元的な管理体制のもとで工場製作を行うため □ ⑶密接な関連のある二以上の工事を管理するため（主任技術者のみ適用） □ ⑷工作物等に一体性が認められる工事であるため □ ⑸余裕期間等を設定した工事であるため □ ⑹監理技術者補佐を設置した工事であるため

※本書は工事主任に提出すること。

現 場 代 理 人 経 歴 書

現 住 所				
氏　　名			生年月日	※昭和 平成　　年　　月　　日生
最 終 学 歴	卒 業 年 月	学　　校　　名		専 攻 科 目
	※昭和 平成 令和　　年　　月			
職　　歴	※昭和 平成 令和　　年　　月	入社（　　年　　月退職）		
	※昭和 平成 令和　　年　　月	入社		
技 術 資 格	※昭和 平成 令和　　年　　月			所得No.
	※昭和 平成 令和　　年　　月			所得No.

		工　　事　　名	請負代金額（千円）	工　　期
主要工事経歴	直前1年分			年　　月 年　　月
				年　　月 年　　月
	直前2年分			年　　月 年　　月
				年　　月 年　　月

上記のとおり相違ありません。

令和　　年　　月　　日

氏　名……㊞

・※印の項目については、該当するものを○で囲むこと。

・最終学歴は、小学校、中学校、高等学校、短期大学、大学又は高等専門学校のいずれかを記載し、専修学校、各種学校等は記載しないこと。

・現場代理人と主任技術者（監理技術者）が同一の場合は、この経歴書は不要です。

主任技術者
監理技術者　経　歴　書
監理技術者補佐
専門技術者

現住所				
氏　名			生年月日	年　月　日生
最終学歴	卒業年月	学校名		専攻科目
	年　月			
職　歴	年　月	入社（　年　月退職）		
	年　月	入社		
技術資格	年　月			所得No.
	年　月			所得No.

主要工事経歴		工事名	請負代金額（千円）	工期
	直前1年分			年　月 年　月
				年　月 年　月
	直前2年分			年　月 年　月
				年　月 年　月

上記のとおり相違ありません。

年　月　日

氏　名……㊞

・　最終学歴は、小学校、中学校、高等学校、短期大学、大学又は高等専門学校のいずれかを記載し、専修学校、各種学校等は記載しないこと。

・　監理技術者については、監理技術者資格者証の写し（両面）を添付すること。

接合工事等資格者指定通知書

令和　　年　　月　　日

札幌市水道事業管理者
水道局長　　様

（住所）
請負人（名称）
（代表者名）　　㊞
ＴＥＬ

工　事　番　号	工　　事　　名

上記工事に係る接合工事等資格者を次のとおり定めたので通知します。

区　　分	氏　　名	備　　考

・提出部数　　２部
・提 出 先　　監督員
・提出期限　　接合工事等資格者が決定次第速やかに
・提出にあたっては、免状等の写しを添付すること。

工　事　工　程　表

令和　　年　　月　　日

札幌市水道事業管理者
水道局長　　様

（住所）
請負人（名称）
（代表者名）　　㊞

下記工事について、別紙工程をもって施行したいので、承認くださるようお願いします。

記

１　工事番号　　（　　）第　　－　　号

２　工 事 名

着　手　令和　　年　　月　　日
３　工　　期
しゅん功　令和　　年　　月　　日

・提出部数　　２部
・提 出 先　　監督員

工　事　工　程　表

令和　　年　　月　　日

札幌市水道事業管理者
水道局長　　様

（住所）
請負人（名称）
（代表者名）　　㊞

下記工事について、工程に変更が生じたため別紙工程をもって施行したいので、承認してくださるようお願いします。

記

１　工事番号　　（　　）第　　－　　号
２　工 事 名

着　手　令和　　年　　月　　日
３　工　　期
しゅん功　令和　　年　　月　　日

・提出部数　　２部　ただし、工程のみに変更のあるものは３部
・提 出 先　　監督員
・提出期限は５日以内。ただし期日を指定されたときは、その期日までに提出すること。

様式6－2

工　　種	数　　量	単　　位	日　　数	月						月						月						備　　考
				5	10	15	20	25		5	10	15	20	25		5	10	15	20	25		

工　期　延　長　協　議　願

令和　　年　　月　　日

札幌市水道事業管理者
　水道局長　　様

（住所）
請負人（名称）
（代表者名）　　㊞

下記工事については、下記の理由により工期内に工事完成の見込みがありませんので、工期変更の協議願います。

つきましては、札幌市水道局建設工事請負契約約款第 22 条第１項の規定に基づく協議日を設定願います。

記

１　工事番号　（　　）第　　－　　号
２　工 事 名

３　工　　期　　着　　手　　令和　　年　　月　　日
　　しゅん功　　令和　　年　　月　　日

４　理　　由

５　現在の出来高　　％

６　延長希望日数　　日間

・提出先　　監督員

工　事　部　分　検　査　願

令和　　年　　月　　日

札幌市水道事業管理者
　水道局長　　様

（住所）
請負人（名称）
（代表者名）　　㊞

下記工事について、工事請負代金の部分払（内払）を得たいので、第　　回部分検査を実施して戴きたくお願いします。

記

１　工事番号　　（　　）第　　－　　号

２　工　事　名

３　請負代金額　　金　　円

・提出部数　　２部
・提 出 先　　監督員（担当職員）

工事しゅん功届（設計金額が２５０万円以上）　　様式－１０

工　事　し　ゅ　ん　功　届

令和　　年　　月　　日

札幌市水道事業管理者
　水道局長　　様

（住所）
請負人（名称）
（代表者名）　　㊞

下記工事は令和　　年　　月　　日しゅん功したのでお届けします。

記

１　工事番号　　（　　）第　　－　　号

２　工　事　名

・提出部数　　２部
・提 出 先　　監督員
・提出期限はしゅん功日と同日。ただし、しゅん功日が休日の場合は翌日（翌日も休日の場合は順延）に提出すること（受理日に受付する。）。

工　事　し　ゅ　ん　功　届

令和　　年　　月　　日

札幌市水道事業管理者

水道局長　　様

（住所）
請負人　（名称）
（代表者名）　　㊞

工事番号　（　　）第　　－　　号

工 事 名

上記工事は令和　　年　　月　　日しゅん功したのでお届けします。

工事しゅん功確認欄

検査実施欄	この工事の検査員に下記の者を命じ、検査を　　月　　日　　時から実施する。

部長		課長		係長	

工事しゅん功検査報告書

令和　　年　　月　　日

検 査 員

工事主任

上記工事の検査結果は、次のとおりであったので報告します。

検査結果		部長		課長		係長	

・提出部数　　２部

・提 出 先　　監督員

・提出期限はしゅん功日と同日。ただし、しゅん功日が休日の場合は翌日（翌日も休日の場合は順延）に提出すること（受理日に受付する。）。

水　圧　試　験　報　告　書

令和　　年　　月　　日

工　事　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

請負人名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

現場代理人＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

測　定　結　果

	測定月日	測定箇所 (消火栓番号)	管種 管径	異常の有無	試験水圧	現況水圧
1				有　無	ＭＰａ	ＭＰａ
2				有　無	ＭＰａ	ＭＰａ
3				有　無	ＭＰａ	ＭＰａ
4				有　無	ＭＰａ	ＭＰａ
5				有　無	ＭＰａ	ＭＰａ

水圧試験報告書（テストバンド方式）

令和　　年　　月　　日

工　事　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

請負人名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

現場代理人＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

測　定　結　果

１　試験日時　　令和　　年　　月　　日　　時

２　試験区間

３　試験結果　　別紙のとおり

試　　験　　結　　果

	管種・管径	管　番　号	テストバンドからの漏れの有無	ライニング面からの漏れの有無
１				
２				
３				
４				
５				
６				
７				
８				
９				
１０				
１１				
１２				
１３				
１４				
１５				
１６				
１７				
１８				
１９				
２０				
２１				
２２				
２３				
２４				
２５				
２６				
２７				

係　　長	工事主任

断　水　計　画　書

１．工　事　名

２．断水（濁水）日時
　　令和　　年　　月　　日　　時　　分　から　　年　　月　　日　　時　　分まで

３．断水区域
　　区

４．断水件数
　　・直圧方式　　件　　・受水槽方式　　件　　（合計　　件）

５．濁水区域
　　区

６．濁水区域
　　・直圧方式　　件　　・受水槽方式　　件　　（合計　　件）

７．使用者への通知
　　・断水（濁水）通知ビラの配布は、　　月　　日に行います。
　　・飲食店、商店等の常時水道水を使用する施設については、事前に打合せを行い、ビラ配布と共に再度口頭でお願いする。

８．施工方法
　(1)　断水作業　　①仕切弁操作　：　閉止順序
　　②断水確認　：　　にて確認
　(2)　切替作業　　断水確認後作業開始
　(3)　濁水処理作業　　①仕切弁操作　：　操作順序
　　②濁水処理　：　　にて濁水処理

９．仕切弁操作員氏名

　　（住所）
　請　負　人
　　（名称）

現場代理人氏名　　㊞

・提出部数　　３部

・提 出 先　　監督員

・添付図書　　配水管網図（1/2500）――［断水管路・断水操作仕切弁等明示］
　　住宅地図　――――――［断水・濁水家屋等明示］［直圧・受水槽区分］
　　受水槽一覧表　――――［受水槽の流入バルブ開閉操作等必要により提出］

様式－18

推　進　工　事　記　録　表

工事名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

令和　　年　　月　　日（　　曜日）　推進工事場所　　区

請負人名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　測定者＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

現場代理人＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞　　測定本数　　本

推進長 管　種 ㎜～　　m 全　長　　m			側　　点	P＝　～P＝	P＝　～P＝	P＝　～P＝	P＝　～P＝	P＝　～P＝	P＝　～P＝	P＝　～P＝
			短　距　離							
			累　　計							
測定値	高さ	計　画　管　底　高								
		測　定　管　低　高								
		ズレ（㎜）（＋）（－）								
	ふれ	ズレ（㎜）	左右方向へ							
推　　力　（t）										
切　羽　土　質　状　況										
記　　事										

本日の推進長＿＿＿＿＿＿＿＿m

仮ＢＭ＿＿＿＿＿＿＿＿　作業時間　　時～　　時　接合時間　　時間　推進累計出来高＿＿＿＿＿＿＿＿％

様式－１９

推 進 工 成 果 報 告 書

工　事　名

請 負 人 名　　測 定 者

現場代理人　　㊞

高さ		M																																		
	cm	本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
	上																																			
	0																																			
	下																																			

ふれ		M																																		
	cm	本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
	左																																			
	0																																			
	右																																			

様式－２０

冠　記　号	工 事 番 号

令和　　年度

工　　事　　名

材　料　受　払　簿

工事主任　　所　　係　職　　氏名

請負人名

担当者名

札　幌　市　水　道　局

記　　載　　要　　領

1．貯蔵品出庫要求伝票等により受入れた材料は、必ずこの受払簿に登載する。この場合の品名・形状寸法・数量は出庫要求書のとおり記載し、日付は受入れ月日とする。

2．請求数量が大量の場合、受入れが数度に分かれて搬入されることがあるので、その都度受入数量を記入する。

3．材料払出しの場合は、使用の都度毎日払出欄に記入する。

4．直管・切管の記載方法（様式－20－１）

(1)　直管として使う場合

使用月日・払出直管・累計を記入し、受入数との差を残数欄に記載する。

(2)　切管として使う場合

(ｱ)　直管を切って使用する場合

甲切・乙切の区分と長さを払出の“切管欄”に、残管の区分と長さは、“残りの切管欄”に記入し、切管累計はこの場合のみ記入する。残数は、受入数より直管の累計を差し引いたものを記入する。なお、切管の長さの表示は、cmまでとする。

(ｲ)　残りの切管を再使用する場合

受入欄に（○／○再）を記し、払出切管欄に甲・乙の区分・長さを記して払出を行い、切管払出状況欄の上段に使用月日と甲・乙の区分と長さを書き、下段にさらに余り状況を記入する。切管を再々使用する場合も同様とする。

(3)　残りの切管状況

“切管払出状況欄”に記入のない場合，同欄が０となっていない場合は切管が残っていることとなる。

(4)　本日使用欄の記入について

同欄には当日使用した直管と当日新たに直管を切った数の合計を記入する。

(5)　直管の累計＋切管の累計＋残数＝受入総数となっているかどうか，常にチェックしなければならない。

5．異形管類の記載は（様式－20－２）による。栓を使用した際、ジョイント１組のうち押輪が残るので、その旨を“備考欄”に明記し、払出数は組で数える。押輪の残った日と栓を使用した日とは一致する。

6．残りの切管にはペンキ等で切った日付、残った長さを記しておけば判別が容易であり、混同しない。

7．残材料は貯蔵品入庫要求伝票で返納し、朱書きで受払簿を整理する。

8．受払簿の記入はペンまたはボールペンを用い、鉛筆を使用しない。

品名　鋳　鉄　管（ＤＴＰ）　　形状寸法　φ 100 × 4.00m　　設計数量 175本　変更数量

月日		番号	受入	払出 直管	払出 累計	払出 切管	払出 切管累計	払出 本日使用計	残数	切管払出状況 残りの切管	切管払出状況 月/日 / 再残				備考
5	1	2345	130						130		/	/	/	/	
〃	2			25	25						/	/	/	/	
〃	〃					甲 1.85	1			乙 2.15	5/3 乙 1.50	5/1 乙 0.65	/	/	
											乙 0.65	0			
〃	〃					甲 3.00	2	27	103	乙 1.00	5/4 乙 1.00	/	/	/	
											0				
〃	3		45						148		/	/	/	/	
〃	〃			28	53						/	/	/	/	
〃	〃		(5/2 再)			乙 1.50					/	/	/	/	
〃	〃					乙 3.56	3	29	119	乙 0.44	/	/	/	/	
〃	4			30	83						/	/	/	/	
〃	〃		(5/2 再)			乙 1.00		30	89		/	/	/	/	
〃	10			17	100						/	/	/	/	
〃	〃		(5/2 再)			乙 0.65		17	72		/	/	/	/	

様式-20-2

品名　　形状寸法　　

月日		番号	受入	累計	払出	累計	残数	備考

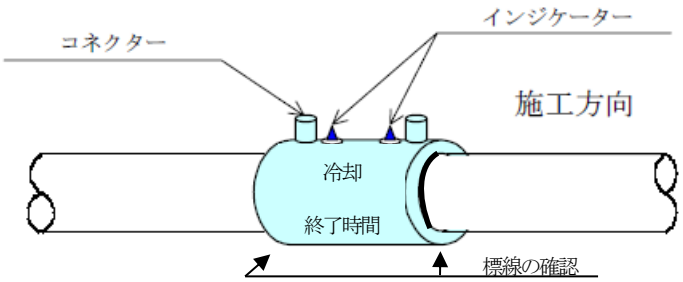
品名　　形状寸法　　

月日		番号	受入	累計	払出	累計	残数	備考

現場代理人	継手施工者

「EFソケット　継手チェックシート」

工事番号:第　　号	施工年月日：令和　年　月　日	天　気:
工　事　名:		外気温:　　℃
呼び径: φ　　mm	工事場所:	



継手 No.					
形状					
略図					
天候					
陸継ぎの有無					
曲げ施工の有無					
湧水の有無					
管の点検・清掃					
スクレープ					
エタノール(アセトン)清掃					
標線の確認					
通電終了時刻					
インジケータの確認					
冷却終了時刻					
接合総合判定					
フランジボルト(トルク)					

発電機の仕様：	コントローラの仕様：

備考: